

省エネ支援アドバイザー派遣事業実施業務 受託候補者特定基準

評価項目	評価の観点	配点	
		大項目	小項目
<b>1 業務目的の理解度</b>		<b>5</b>	
自動車関連企業を始めとしたものづくり企業の現状の課題とその対策について	自動車関連企業を始めとしたものづくり企業の脱炭素化の取組に関する現状の課題について十分な見識を有しているか。	5	5 (5×1)
<b>2 業務の実施方針</b>		<b>75</b>	
(1) 現状分析及び課題抽出	ア 省エネの管理手法の設定方法が明確かつ適切か。 イ ヒアリング及び現地調査の方法が明確かつ適切か。 ウ エネルギー使用量の計測やエネルギーロス発生箇所の特定等の方法が明確かつ適切か。また、得られる情報の内容とそれを活用した課題抽出の方法が明確かつ適切か。	30	10 (5×2) 10 (5×2) 10 (5×2)
(2) 改善提案及び実行支援	ア 改善提案の考え方は、低コストで実施できる運用改善を中心とし、CO <sub>2</sub> 排出量の削減及びコスト削減に資するものになっているか。 イ 省エネ施策の実行支援の考え方は、着実に効果が出せる方法で、活動の定着化を促すものになっているか。	30	15 (5×3) 15 (5×3)
(3) 支援スケジュール	個別企業の訪問回数及び支援内容が適切で、実施可能なものか。	15	15 (5×3)
<b>3 実施体制等</b>		<b>20</b>	
(1) 実施体制等	ア アドバイザーとなる者は、個別企業の現状分析・課題抽出・課題の解決・改善活動への取組に対する適切な助言及び指導ができる能力（専門知識、ノウハウ、保有資格等）が十分備わっているか。 イ 事業実施に必要な人員が確保され、発注者との協議や発注者の要望等に迅速かつ柔軟に対応できる体制が備わっているか。 ウ 事業費の積算は適切か。	15	5 (5×1) 5 (5×1) 5 (5×1)
(2) 類似業務の実績	類似業務として、製造業での省エネ支援の実績が豊富か。	5	5 (5×1)
<b>合 計</b>		<b>100</b>	<b>100</b>

※ 高 ←—————→ 低  
評価点 5・4・3・2・1

【留意点】合計点が6割（60点）に満たない場合は、その提案は無効とする。